

- 自衛隊機等の事故が相次いでいるが、特に一九八六年は目立って多発した。これは、日米共同軍事演習が頻繁化している情勢と密接不可分の関係である。米国の対ソ最前線に位置して演習を繰り返している限り、更に重大な事故は必至であろう。十一月の小松基地での事故原因もパイロットの操縦ミスという当局発表の裏に、訓練の強化という真の原因を見取おかなければならないだろう。
- 一年間の軍用機事故のうち主なものを順を追って示すと次の通り。
- 2・18 入間基地でC1輸送機が離陸に失敗して墜落、大破。
 - 3・27 海上自衛隊の哨戒ヘリが静岡県御前沖に不時着、三人死亡。
 - 6・16 新田原基地のF4EJファントム二機が、福岡県豊前市内と大分県周防灘に墜落。燃料切れが原因と発表された。
 - 9・1 千歳基地でF15J戦闘機が着陸時にバンク、千歳空港が約三時間閉鎖となる。
 - 9・2 新田原基地のT2ジェット練習機が宮崎県西都市の住宅に墜落。民家一棟が半壊、食堂全焼、住民二人が重傷、乗員一名死亡。
 - 9・4 百里基地で緊急発進（スクランブル）しようとしたF15J戦闘機からサイドワインダー・ミサイルが突然暴発。
 - 9・25 千歳基地でRF4Eファントム偵察機が着陸地にバンク、機は草地に突っ込み停止。滑走路が一時閉鎖となる。
 - 10・9 那覇基地に米海兵隊の攻撃ヘリが緊急着陸、一時滑走路が閉鎖となる。
 - 11・10 小松基地でF4EJファントム二機が滑走路で追突、一機は火を噴いて暴走した。

△相次ぐ自衛隊の事故（一九八六年）▽

小松基地のジェット機墜落事故

| 日 | 時 | 機種 | 数 | 墜落場所 |
|-------|--------|--------|---|-------------|
| 1962年 | 2月18日 | F86F | 1 | 橋立沖 |
| 1965年 | 4月15日 | F104J | 1 | 美川沖 |
| 1966年 | 4月8日 | F104J | 1 | 輪島沖 |
| 1966年 | 7月11日 | T33練習機 | 1 | 浜佐美(送電線を切る) |
| 1967年 | 12月12日 | T33練習機 | 1 | 金石沖 |
| 1969年 | 2月8日 | F104J | 1 | 金沢市街 |
| 1971年 | 5月24日 | F104J | 1 | 基地内(着陸の失敗) |
| 1974年 | 10月25日 | F104J | 2 | 小松沖の北北西80km |



父 これがお父さんの飛行機雲の思い出なんだよ。

子 おばあちゃん。かわいいそう。もうそんなことないよね。

父 でもね。その後もいろんなところで訓練機のおい落事故が起きてるんだよ、日本全国には、六十近くもの航空自衛隊の基地があって、毎日訓練をくり返している。アメリカとの共同訓練だって年々強められているんだ。

(おわり)

注 ここで舞台は現在にもどる。